

# 宮路拓馬 国会通信

## ■ 消防団強化への取組等について質問 衆議院予算委員会分科会で

2月22日、衆議院予算委員会第二分科会において、広島市役所勤務時代に消防団員として活動していた経験を踏まえ、高市早苗総務大臣等に対し、消防行政に関する質問をしました。

地元の消防関係者からの現場の声を受け、先般議員立法として成立した「消防団基本法」に基づく団員の確保の取組や、過疎地等における救急隊の編成基準の特例措置について、政府の考えを質しました。また、今般の自動車免許制度における準中型免許の新設に伴い、今後普通免許を取得する団員がポンプ車を運転できなくなる問題への対応を求めました。

今後とも、地域住民の安心・安全のために活動する消防団の充実・強化に向け、頑張っまいます！



(2月22日 高市大臣答弁 衆院委員会室)

## ■ 特土法改正 年度末成立に向け 精力的に各党に説明

2月22日、「特殊土壤地帯災害防除及び振興臨時措置法」の改正を目指す世話人国会議員懇談会（世話人代表：森山裕前農水大臣）の事務局長として、民進党、日本維新の会に法案の内容等について説明に伺いました。

この法律は、昭和27年に郷土の大先輩である上林山榮吉代議士等が中心と

なって成立させた議員立法であり、鹿児島のスラス台地のような浸食を受けやすい特殊土壤地帯の保全と農業生産力の向上を図ることを目的としており、今年度末に期限を迎えることから、今回その延長を行おうとするものです。

ちょうど10年前に、父・宮路和明が代表世話人として改正に当たったこともあり、その息子として、引き続き、年度内の成立に向け頑張っまいます！



(2月22日 民進党農林水産部門会議)

## ■ 日米首脳会談を終えた 安倍総理との懇談

2月15日、トランプ大統領との日米首脳会談を終えて帰国されたばかりの安倍総理が出席された会合において、今回の会談の趣旨や今後の日米関係等について、直接お話を伺う機会を得ました。



(2月15日 都内会場)

北朝鮮による要人暗殺やミサイル発射をはじめ、我が国周辺の国際情勢が緊迫化する中、仮に批判を浴びたとしても、政府の最高責任者として、我が国の平和と安全を確保しなければならない、という断固たる決意を感じる貴重なひとときでした。

### ■ 「手話言語条例」の制定に向けて 学習会にて手話でスピーチ

2月12日、鹿児島市で開催された「手話言語条例制定に向けての学習会」に出席し、手話でスピーチをさせていただきました。

私は大学時代に手話サークルに所属し、その間多くの聴覚障害者の友人にも恵まれ、これまで手話のできる唯一の国会議員を自認してきました（現在は SPEED の今井絵理子参議院議員（ご子息が聴覚障害児）の後塵を拝しています（笑））。

そうした経験を活かし、鹿児島における手話言語条例の制定に向け、微力を尽くしてまいります！



(2月12日 鹿児島市ハートピアかごしま)

### ■ 長島町を訪問 地方創生の最前線を視察

2月3日、総務省時代の後輩である井上貴至氏が副町長を務める長島町を訪問しました。

井上副町長は、アイデアとネットワーク形成力、そして実行力に優れ、既に①ぶり奨学金、②長島大陸エネルギー、③Nセンターなど多くの成果を挙げ、今や地方創生の分野では知らない人がいないほど多くのメディアにも取り上げられている、尊敬すべき自慢の後輩です。

彼が2年前に同町に着任して以来「いつか長島を訪れる」との約束をついに果

たし、地方創生の実践の現場から多くの学びを得ることができました。



(2月3日 長島町役場)

### ■ 女性活躍・子育て・幼児教育 PT 提言の取りまとめに向け精力的に活動

昨年12月、自民党「一億総活躍推進本部」の下に「女性活躍・子育て・幼児教育プロジェクトチーム」が設置され、担当主査を仰せつかりました。

本PTでは、女性活躍や子育て等に関する現行制度の現状と課題について、毎週、テーマごとに有識者の方をお招きし、熱心な議論が展開されています。これまで、ダブルケア（育児と介護の同時進行）の支援の在り方や、男性の家事・育児参画の促進策、病児保育の充実等について検討を行ってきました。

4月中には、関連する新たな施策を盛り込んだ提言を取りまとめる予定です。2歳の娘を持つイクメン議員の一人として、女性はもちろん、男性も、そして何より将来の日本を支える子どもたちが、より幸せに安心して生活できる社会とするため、知恵を絞ってまいります！



(2月8日 自民党本部会議室)